



ご当地 **よ坊さん** 茨城

# 茨 歯 会 報

No.563

茨城県歯科医師会  
Ibaraki Dental Association

March  
**2016**  
平成28年

**3**



## Contents

デンタルアイ	1
岡崎 恵一郎	
会務	3
理事会報告	4
会務日誌	5
学術委員会だより	8
地域保健委員会だより	14
広報委員会だより	17
センターだより	19
警察歯科協議会だより	23
リレー通信	25
森 永 桂 輔	
レディースコーナー	27
小日向 美 保	
追悼	28
会員の異動	30
国保組合 NEWS	31
事務連絡	32
赤えんぴつ	33

### 表紙写真について

南伊豆町青野川の土手の桜です。  
“河津桜”が今、満開で8千本程植樹されています。

(社)茨城県南歯科医師会 飯田 昭

## 学術委員会あれこれ



理事  
岡崎 恵一郎

3月6日に開催された第24回茨城県歯科医学会には今年も多くの皆様に参加をいただきありがとうございました。思い起こすと私は、水戸プラザホテルが現在地に移転開業した年から学術委員会に参加させていただきました。初年度には、建設中の建物を訪れ委員会メンバーで会場割などをしたことを思い出します。その頃は、学術委員会の仕事は2日間の有料研修会、日歯生涯研修セミナー、茨城県歯科医学会開催、そして茨城県歯科医学会誌の発行でした。

それから15年の時が経ち、茨城県歯科医師会においては、学術委員会の仕事の幅が広がってきました。3年前から厚生労働省委託事業として「全国共通がん医科歯科連携講習会・連携登録歯科医名簿作成・がん拠点病院などの合意書締結」、また、茨城県歯科医師会独自の事業として昨年「睡眠時無呼吸症登録歯科医講習会・連携歯科医師名簿作成」を開始しました。

茨城県における「がん医科歯科連携登録」については、全国共通DVD講習会を3年間で12回開催。これは大阪府・静岡県に次いで全国第3位の開催回数です（東京近郊5都県は日歯と国立がんセンターの協働事業で先行したため積極的に開催しなかったようですが…）。連携

1の登録歯科医数が27.0%とこちらも全国平均（21.7%、所属日歯会員に対し）を上回る状況です。これらは、がん医科歯科連携に対する茨歯会会員の意識の高まりに加え、各地区会長先生にご協力いただき、すべての地区で講習会を開催できたことも影響していると思われます。

平成28年度は（原稿作成時にはまだ国の予算が確定していませんが）、日歯レベルでは、医科歯科連携の確立に向け、歯科医師以外の医師をはじめとするがん医療関係者とがん患者に医科歯科連携の重要性を周知していくこと、引き続き各都道府県で連携登録歯科医を増やしていくことを目標に活動予定です。また、茨歯会においては、各地区で医科歯科連携がさらに進むよう、歯科医師・医師・その他のがん医療関係者に向け、がん医科歯科連携の事例検討会（シンポジウム）を計画しています。ぜひ、ご聴講いただければ幸いです。

また、私個人的にも学術委員会の仕事が増えました。3年前から日本歯科医師会の学術委員会に参加させていただいております。日歯の学術と申しますと日歯生涯研修セミナーDVDや日歯生涯研修ビデオなどきれいな教材が多く、いかにも、デジタルメディア作成業者に委託作成しているように見えるかもしれません。とこ

ろが、実際に所属してみると、業者が担当するのは仕上げが主で、テーマ内容の決定、講師選定、講師への依頼などはもちろん、日歯生涯研修実施要領の作成確認、Eシステム内容検討まで、様々な仕事を委員会メンバーで行っています。日歯会長宛の報告書・意見書など、県歯ではあまりなじみのない文書作成もあり、予想以上の激務です。昨今はメーリングリストなどで全国に散らばる委員と常時意見交換ができますが、それ以前はどうしていたのだろうと感じま

す。

茨歯会において学術関連の様々な事業が増えたとはいえ、会員が能動的に発表し、幅広いテーマから学ぶことができる茨城県歯科医学会・茨城県歯科医学会誌が委員会事業の中心であることに変わりはありません。第25回茨城県歯科医学会は平成29年3月12日開催を予定しております。次回も多くの皆さんの参加をお待ちいたします。



**株式会社 岩瀬歯科商会**



昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で90年目を迎えます。皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。

イワセオリジナルユニット

# SIGNO NEXT

こだわりと好みをひとつずつ反映しながら、ワンランク上のラグジュアリー空間と心地よさを演出します。

■ 商品名 岩瀬オリジナルユニット

■ 販売先 岩瀬歯科商会

■ 価格 約100万円 (クラスII) 特定保守管理医療機器

■ 販売地域 栃木県 宇都宮市 2-1-1 AKB 2X0008000

■ 認定販売店 伊勢原 7名

製造販売・製造

**株式会社モリタ東京製作所**

本社 宇都宮 埼玉県立中央市中央区上落合 2-11-24 TEL.048-582-1315

伊勢原工場 埼玉県北足立郡伊勢原町小室 7129 TEL.048-723-2621

発売

**株式会社モリタ**

大阪本社 大阪府吹田市豊水區 3-33-18 TEL.06-6380-2525

東京本社 東京都台東区上野 2-11-15 TEL.03-3834-6161

**事業所案内**

本社	台東区台東2-23-7	TEL.03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL.028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL.029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL.047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL.043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL.03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL.0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL.024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL.03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL.03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL.045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	NEW TEL.045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL.027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	NEW TEL.027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL.046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL.048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL.019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL.042-590-5770

# 会務

## 第160回臨時時代議員会開催

平成28年2月25日（木）14：00より、第160回臨時時代議員会が開催された。氏名点呼、黒沢副会長の開会の辞に続き、瑞宝双光章を授与された日立地区谷田部博先生に対する顕彰が行われ、間宮日立地区会長が代理で受け取られた。森永会長の挨拶の後報告に移り、萩原副委員長による議事運営特別委員会報告、征矢専務理事による日歯代議員会報告および一般会務報告があり、これらに対する質疑応答が行われた。

続いて議事に移り、第1号議案「公益社団法人茨城県歯科医師会労働保険事業組合事業処理規約の一部を改訂する規約案に関する件」が小林常務理事より上程され、全会一致で原案通り可決承認された。休憩の後、事前質問9題に関する質疑が行われ、黒

沢副会長による閉会の辞で全日程を終了した。



## 平成27年度第2回地区会長協議会開催

第160回臨時時代議員会に続き、第2回地区会長協議会が開催され以下の項目について協議した。

- (1) 平成27年度シニア共済収支状況について
- (2) 会費・負担金等未納状況について
- (3) 本会会員資格の取得時期について
- (4) 口腔センター土浦移設検討臨時委員会の設置について
- (5) 在宅歯科医療連携室運営委員会の設置について
- (6) 児童虐待早期発見の連携について
- (7) 歯科衛生士復職支援講習会の地区開催について



# 理事会報告

## 第12回理事会

日時 平成28年2月18日(木) 午後4時

場所 茨城県歯科医師会館 会議室

### 1. 報告

- (1) 平成27年度第4回業務会計監査報告
- (2) 一般会務報告
- (4) 共催依頼について  
つくばピンクリボンフェスティバル
- (5) 北九州市小倉歯科医師会からの義捐金について
- (6) 第24回茨城県歯科医学会でのアンケート調査について
- (7) 2月開業予定の歯科医院について
- (8) 各委員会報告について  
学術委員会、厚生委員会、地域保健委員会、介護保険委員会、学校歯科委員会、社会保険委員会、専門学校

### 2. 協議事項

- (1) 入会申し込みについて  
池田 大造氏(西南地区)の入会を受理した。
- (2) 第160回臨時代議員会事前質問について  
標記について協議し、回答者を決定した。
- (3) 第2回地区会長協議会について  
標記について開催することを承認し、報告及び協議事項を確認した。
- (4) 職員規程の改正(案)について  
標記規程の改正について承認した。
- (5) 歯科医学会の講師謝礼について  
標記謝礼について、規程に則り承認した。

- (6) 裁定委員会の開催について  
標記委員会の開催について承認した。
- (7) 公益社団法人茨城県歯科医師会情報管理規程案について  
標記規程の改正について承認した。
- (8) 公益社団法人茨城県歯科医師会個人情報保護規程案について  
標記規程の改正について承認した。
- (9) 公益社団法人茨城県歯科医師会特定個人情報取扱規程及び特定  
個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針改正案について  
標記規程の改正及び基本方針改定について承認した。
- (10) 地域保健委員会一般健診案について  
標記健診案について承認した。
- (11) 口腔センター土浦移設検討臨時委員会規程案について  
標記規程案について承認した。
- (12) 協12\_HIV感染症歯科医療ネットワークについて  
標記ネットワークについて前向きに検討することとした。
- (13) 日歯広報コラム『都道府県通信』の執筆について  
菱沼理事に一任することとした。

# 会務日誌

- 2月18日 第4回業務・会計監査の執行。業務並びに制度に関する監査（12月1日～1月31日）、会計に関する監査（収支現況）実施した。  
出席者 鈴木監事ほか6名
- 2月18日 第2回議事運営特別委員会を開催。日程、タイムスケジュール、事前質問の取扱い、再質問、関連質問の取扱い、質疑応答（すべての場合において）、傍聴について協議を行った。  
出席者 萩原議事運営副委員長ほか10名
- 2月18日 第11回広報委員会を開催。会報2月号の校正、会報3月号の編集、歯科医学会取材について協議を行った。  
出席者 菱沼広報部長ほか6名
- 2月18日 学校保健総合支援事業第2回連絡協議会が県庁舎にて開催された。  
出席者 千葉理事
- 2月18日 第12回理事会を開催。入会申し込み、臨時代議員会事前質問、第2回地区会長協議会、職員規程の改正（案）、歯科医学会の講師謝礼、裁定委員会の開催、茨城県歯科医師会情報管理規程案・個人情報保護規程案、茨城県歯科医師会特定個人情報取扱規程及び特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針改正案、地域保健委員会一般健診案、口腔センター土浦移設検討臨時委員会規程案、HIV感染症歯科医療ネットワーク、日歯広報コラム『都道府県通信』の執筆について協議を行った。  
出席者 森永会長ほか20名
- 2月18日 在宅歯科医療連携室運営委員会を開催し、在宅歯科医療連携室運営委員会規程について協議を行った。  
出席者 森永会長ほか8名
- 2月18日 第3回茨歯会・茨歯連盟連絡協議会を開催。これからの活動、今後の連絡協議会について協議を行った。  
出席者 森永会長ほか4名 高野連盟会長ほか3名
- 2月19日 茨城県へき地医療支援計画策定会議が県立中央病院災害医療センターにて開催され、平成27年度第1回会議議事録の確認ほかについて協議が行われた。  
出席者 征矢専務
- 2月20日 土浦協同病院新病院竣工内覧会及び祝賀会が同院内にて行われた。  
出席者 森永会長
- 2月20日 社保委員と審査委員の合同連絡協議会を開催。保険請求に関して提出された6の協議題について協議・意見交換を行った。  
出席者 榊社会保険部長ほか21名、新井田審査委員ほか18名

- 2月21日 四師会「JMAT茨城研修会」が水戸医療センター看護学校にて開催された。午前はJMAT総論の後、15チームに分かれての現地訓練が行われ、午後からは図上訓練が行われた。  
出席者 森永会長ほか24名
- 2月21日 口腔ケア講習会を茨歯会館にて開催。訪問歯科診療のお話と明日からつかえる口腔ケアをテーマに歯科衛生士による実技指導を交えて神田稔介護保険委員が講習を行った。  
受講者 83名
- 2月22日 第2回茨城型地域包括ケアシステム推進委員会が県庁舎にて開催され、茨城型地域包括ケアシステム推進マニュアルについて協議が行われた。  
出席者 征矢専務
- 2月24日 日本歯科医学会第94回臨時評議員会が日歯会館にて開催され、平成28年度日本歯科医学会事業計画ほかについて議事が執り行われた後、学会会務運営について協議が行われた。  
出席者 森永会長
- 2月25日 保険医療機関を対象とした個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。  
対象医療機関数 4
- 2月25日 第4回議事運営特別委員会を開催。第160回臨時代議員会事前質問追加資料の取扱い、事前質問の取扱いに関する今後の方針について協議を行った。  
出席者 萩原議事運営副委員長ほか13名
- 2月25日 第160回臨時代議員会を開催し、労働保険事務組合事務処理規約の一部を改正する規約案に関する件について議事を執り行った。  
出席者 小澤代議員会議長ほか60名
- 2月25日 第2回地区会長協議会を開催し、平成27年度シニア共済収支現況、会費・負担金等未納状況、本会会員資格の取得時期、口腔センター土浦移設検討臨時委員会の設置、在宅歯科医療連携室運営委員会の設置、児童虐待早期発見の連携、提出議題・要望等について報告及び協議を行った。  
出席者 間宮日立歯科医師会長ほか26名
- 2月26日 都道府県会長会議が日歯会館にて開催され、時局問題について協議を行った。  
出席者 森永会長
- 2月28日 第3回医療管理委員会を開催。来年度事業予定、歯科衛生士復職支援講習会詳細について協議を行った。  
出席者 大字常務ほか9名
- 2月28日 歯科技工士国家試験が日本歯科大学生命歯学部において実施され、歯科技工士科9名が国家試験を受験した。
- 3月 3日 茨城政経懇話会3月例会がホテルテラスザガーデン水戸にて開催された。  
出席者 森永会長
- 3月 3日 第2回裁定委員会を開催。茨歯会会員の行政処分について協議を行った。  
出席者 村上裁定委員長ほか10名
- 3月 3日 第9回厚生委員会を開催。茨歯会ソフトボール大会代表者会議、茨城県歯科医学会企画について協議を行った。

- 出席者 増本厚生部長ほか20名
- 3月 3日 第3回在宅歯科医療推進協議会を開催し、実態把握調査アンケートの結果、平成28年度地域医療介護総合確保基金事業について協議を行った。
- 出席者 森永会長ほか5名
- 3月 6日 第24回茨城県歯科医学会を水戸プラザホテルにて開催。24題の一般口演、14題のポスター発表、3題のテーブルクリニック、公開講座、12の各種企画、書籍展示等を行った。
- また、併催した第37回茨城デンタルショーへは64社が出展し、歯科用機材などの展示を行った。
- 参加者 1,215名
- 3月 6日 第7回学術委員会を水戸プラザホテルにて開催。第24回茨城県歯科医学会（反省事項）、来年度第25回歯科医学会、がん医科歯科連携事例検討会、無呼吸症講習会、シンポジウムについて協議を行った。
- 出席者 岡崎学術部長ほか10名
- 3月 6日 歯科衛生士国家試験が日本大学文理学部において実施され、歯科衛生士科45名が国家試験を受験した。
- 3月 7日 第3回茨城県准看護師試験委員会が県庁舎にて開催され、平成27年度茨城県准看護師試験実施結果ほかについて協議が行われた。
- 出席者 征矢専務
- 3月 8日 都道府県社会保険担当理事連絡協議会が日歯会館にて開催され、平成28年度診療報酬改定に係る改定内容の説明について協議を行った。
- 出席者 榊社会保険部長ほか4名
- 3月 9日 茨城歯科専門学校において卒業式を挙行。歯科衛生士科45名、歯科技工士科9名の学生が本校を卒業した。
- 3月10日 第182回日歯代議員会が日歯会館にて開催される（～11日）。平成28年度事業計画・入会金及び会費の額・収支予算・資金調達及び設備投資の見込み、理事選任、高木幹正前会長への役員退職慰労金支給、役員退職慰労金支給の件について議事が、その後時局対策について協議が執り行われた。
- 出席者 森永日歯代議員ほか2名
- 3月11日 東日本大震災五周年追悼・復興祈念式典が県庁舎にて執り行われた。
- 出席者 森永会長
- 3月11日 第2回セルフメディケーション推進連絡会議が県薬剤師会館にて開催され、平成27年度事業成果について協議が行われた。
- 出席者 征矢専務
- 3月13日 第11回社会保険委員会を開催。診療報酬点数改定について協議を行った。
- 出席者 榊社会保険部長ほか21名
- 3月16日 厚生局茨城事務所・県国民健康室との平成28年度指導関係について打合せを行い、平成28年度の変更点、それぞれの要望事項について協議した。
- 出席者 須藤厚生局茨城事務所長ほか5名 森永会長ほか6名

## 第24回茨城県歯科医学会開催

学術委員会 今湊 良証

2016年3月6日（日）に、第24回茨城県歯科医学会（併催 第37回茨城デンタルショー）が水戸プラザホテルにて開催されました。

偕楽園の観梅見頃の好天の日曜日にもかかわらず、今年は歯科医師382名 歯科衛生士213名 歯科技工士78名 他多数で1215名の参加者で、駐車場がほぼ満杯で、学会場は熱気で盛り上がりました。



開会式で森永会長の開会宣言の後、テープカットが行われ多くのプログラムが各会場に分かれて開催されました。

一般口演は24題の発表がありました。今年も栃木県歯科医師会員の先生や茨城歯科専門学校衛生士科学生の発表もありました。質疑応答、意見交換も行われ充実した内容でした。

ポスター発表は14題の発表がありました。沢山の方がポスターに見入り、演者に質問しておりました。

テーブルクリニックは午前、東西茨城歯科医師会 中島京樹先生、午後、東京歯科大学教授 後藤多津子先生、土浦石岡歯科医師会 萩原敏之先生、計3題の講演が行われました。

県民公開講座は、今年も事前登録制でしたが、

電話予約で定員オーバーとなり、うれしい悲鳴でした。毎年の参加者、両講座への参加者も多数おり、お陰様で楽しみにして来ている県民の方が増えております。

公開講座Ⅰは、「噛んで食べることは生涯の宝物」と題し、日本顎咬合学会理事長・土浦石岡歯科医師会 上演 正先生に御講演いただきました。日本は、四季を通じ豊富な食材と優れた食文化があり、自分で学習した口腔機能で、「よく噛んで食べることで健康長寿」は生涯にわたる宝物であることを解りやすく説明いただきました。

公開講座Ⅱは、「弁当プロジェクト3ー食べる機能を育てる・維持する・補助するー」と題し、公益社団法人 茨城県歯科医師会、いばらき専門カレッジリーグ、茨城県歯科医師会東西茨城地区食文化研究会により行われました。今年度の公募で表彰した「噛むかむレシピ賞」の中から4品と今回は「食べる機能を育てる・噛むかむ弁当」を提示し、それぞれを試食し、考察しました。また、味覚を育てる取り組みの提案として、3種の塩のテイスティングを行いました。

介護保険委員会は「ケアの視点で行う摂食嚥下リハビリテーション」と題しまして大阪大学大学



院准教授 野原幹司先生に御講演いただきました。

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸・口腔センター土浦は、「『スペクトラム』としての発達障害」と題しまして、国際医療福祉大学 岩崎淳也先生に御講演いただきました。

茨城県女性歯科医会は、「愛の革命と第2のヒューマニズム」と題しまして松浦茂長先生に御講演いただきました。

鈴木昇一先生の「写真道場へようこそ！」は、18回目を迎えました。

(公社)茨城県歯科衛生士会は村上恵子先生、(公社)茨城県歯科技工士会は生田龍平先生に御講演いただきました。

地域保健委員会は第5回噛むかむレシピコンテストの作品紹介と表彰式を開催いたしました。県内各地から過去最多905作品(昨年425)応募の中より、自由部門とテーマ部門は今年の食材：ピーマン(パプリカを含む)で、それぞれ、小学生の部6作品、一般の部6作品が「噛むかむレシピ賞」に選ばれました。

学校歯科委員会は、改訂される学校歯科検診の検診基準についてポスター展示しました。

厚生委員会は、なでしこクラウドの弦楽三重奏・ミニコンサートを行い、癒しのひと時となりました。

茨城歯科専門学校 歯科衛生士科と歯科技工士科の紹介をロビーにて行いました。

ランチョンセミナーは、「アメリカ式歯周基本治療」と題しましてデンツプライ三金(株)柿原 睦先生に御講演いただきました。事前予約の受講者は美味しいサンドイッチのランチを頂きながらも、演題に聞き入っておりました。

第14回福田賞は、茨城県歯科医学会の県民公開講座において再度にわたり講演を行い、かつ会員の歯科医療医術の向上に多大な貢献をして頂いた、土浦石岡歯科医師会の上濱 正先生が受賞さ





れました。おめでとうございます。

また、併催した37回茨城デンタルショーは、64社が出展し、診療台・歯科用機材などの展示を行い、各ブースとも盛況でした。

現在、学術委員会では、「第24巻 茨城県歯科医学会誌」を編集中です。今秋には発刊予定です。投稿論文も募集しております。一般口演、テーブルクリニック、ポスター発表、各企画などの事後抄録は第24巻を今暫くお待ちください。

次回、第25回茨城県歯科医学会は来年3月12日（日）水戸プラザホテルにて開催されます。第25回の記念大会として、より県民、県医師会、県薬剤師会、県看護協会にもお声掛けして、一層の充実を目指す予定です。企画など、ご意見・ご要望承ります。是非とも会員の皆様の発表、参加をお待ちいたします。ご協力よろしくお願い致します。



## 第5回噛むかむレシピコンテスト 表彰式開催報告

地域保健委員会 長谷川 弘道

3月6日（日）水戸プラザホテルにて開催された歯科医学会において、第5回噛むかむレシピコンテスト表彰式を行いました。

このコンテストは、平成23年度から実施しており、今回で5回目の実施です。この事業の目的は、よく噛むことの大切さとそのための歯と口腔の健康づくり普及啓発を図ることとしています。また、「一口30回噛もう」というキャッチフレーズ、「噛ミング30（カミングサンマル）」のPRも目的としています。

第2回目からは地産地消の推進にも努め、募集条件に「茨城の地元の食材を活用すること」を加えましたが、25年度から具体的に「農業産出額全国第1位～3位の茨城の品目から1品以上を食材に活用したレシピ」としました。

募集に当たっては、歯や口の健康のためによく

噛むメニューのレシピであることを基本とし、テーマ部門（本年度はピーマン）、自由部門（本県農業産出額全国1～3位の食材）の2部門を設け、昨年11月8日から本年1月9日まで募集したところ、

テーマ部門 小学生以下の部 128作品

一般の部 141作品

自由部門 小学生以下の部 191作品

一般の部 445作品

合計905作品ものご応募をいただきました。これは昨年度の2倍を超えるものです。

応募作品の審査会は、さる1月28日（木）に茨城県歯科医師会館にて開かれ、中川学園調理技術専門学校 中川一恵先生をはじめとした、食や健康に関わる関係者の厳正なる審査により次の12作品が「噛むかむレシピ賞」に選出されました。



会長あいさつ



受賞作品のレシピ展示

## 1. テーマ部門

## (1) 小学生以下の部

1	茨城野菜の中華ごはん	寺田 和聡	牛久市立岡田小学校
2	ふわふわの中のかむかむ	花城 心海	牛久市立岡田小学校
3	茨城ギュッ！とカムカムぎょうざ	勝二 萌々花	水戸市立石川小学校

## (2) 一般の部

4	揚げない！チンジャオロース風春巻	阿久津 萌美	常磐大学人間科学部健康栄養学科
5	いろんな食感！かみかみ井	鯉渕 駿之介	城里町立常北中学校
6	シャキシャキもちもちのりまき	井上 瑠渚	土浦市立土浦第二中学校



テーマ部門 小学生以下の部



テーマ部門 一般の部

## 2. 自由部門

## (1) 小学生以下の部

7	かむかむ切り干し大根	後藤 克斗	牛久市立岡田小学校
8	カムカムスイーツ	二川 莉愛	大洗町立大貫小学校
9	なっとうきんちゃく	門馬 怜	水戸市立千波小学校

## (2) 一般の部

10	たくさんかむかむ	佐藤 彩香	県立水戸第三高等学校
11	カルシウムたくさんはるまき	鯉渕 広夢	城里町立常北中学校
12	カラフルおにぎらず	鯉渕 マリア	城里町立常北中学校



自由部門 小学生以下の部



自由部門 一般の部

表彰式当日は、森永会長の主催者挨拶に続き、渡辺地域保健担当常任理事から今回のレシピコンテストの経過報告がありました。その後の授与式では、天候に恵まれたため、水戸の梅まつりの人出と重なり、式に遅れた受賞者もいらっしゃいましたが、9名の受賞者に表彰状と記念品が授与されました。その後、会長と中川先生を交えて記念撮影をし、最後に中川先生から総評を戴き、閉式となりました。中川先生の総評では、「応募された905のレシピをすべて審査したが、どれも工夫されていて感心した。なかでも、「〇〇の食材を使うことによって『よく噛まされる』』と書いてあった作品には思わず笑ってしまったが、なるほど食材によって私たちは『噛まされている』のだ

と納得した」とのお言葉がありました。

表彰式に続き、公開講座「お弁当プロジェクト」の企画の中で、受賞12作品の内、4作品がプラザホテル料理長により、試食料理として提供されました。料理長の腕による、よく噛まされる(?)料理を堪能させていただきました。

受賞作品の中には、大変手の込んだ料理もあり、市販するお弁当で提供するには、課題もあるようです。また、家庭で作るには、もっとシンプルで簡単に作れるものが良いといった意見もありました。

コンテストへの参加状況から見ても、食育への関心は年々高まっており、今後も効果のある啓発事業として継続していきたいと考えております。

## 原稿募集

身近な出来事から臨床まで皆さまのご意見・感想を載せてみませんか。

「茨歯会報」は会員皆さまの会誌です。臨床におけるヒントや趣味、旅の思い出など、また地区歯科医師会や同好会・同窓会の様々な活動（研修会、厚生事業）など何でも結構です。会報をフルにご活用下さい。

Eメールの投稿で結構です。形式はどんな形式でもかまいませんが、出来ればテキスト、ワード、一太郎、にてお送り下さい。

詳しくは、茨歯会事務局まで。

E-mail [id-05-koho@ibasikai.or.jp](mailto:id-05-koho@ibasikai.or.jp)

広報委員会

## 第24回茨城県歯科医学会報告

広報委員会 富田 浩之



3月6日（日）水戸プラザホテルにて、第24回茨城県歯科医学会（併催 第37回茨城デンタルショー）が開催されました。なでしこクラウドによるウェルカム演奏終了後、午前9時30分より歯科医学会の開会式及びポスター発表演者紹介が行われました。



その後、2Fロビーにて10時から行われたデンタルショーのテープカットを皮切りに、一般口演・テーブルクリニック・ポスター展示・公開講座等が一斉に始まりました。（この時点でホテルの駐車場は満車、臨時駐車場も8割程度駐車され

ている状況です。）会員のみならず一般の来場者も多く、どの会場もほぼ満席の状態でした。デンタルショーは64社が出展し、各ブースとも大盛況で、入室がためられるほどでした。なかでも、ユニット・CT・レセコン・CAD/CAMなどのコーナーに興味を持つ先生が多かったようです。

また、抽選会コーナーには多数の景品が用意され、時折悲鳴やら歓声が聞こえてきました。昼食時間を利用して「噛むかむレシピコンテスト表彰式」やなでしこクラウドのミニコンサートが行われました。特にコンテストには905作品の参加との報告が有りました。昼食時に提供された弁当は噛むかむレシピ満載で、咀嚼のみならず味覚・栄養にも秀逸な一品に仕上がっていました。あっという間に時は過ぎ、午後4時には閉会式が始まり、今回の参加者は1201名との報告をもって終了となりました。この場をお借りして、学術委員会を始めとする各委員会の先生方と事務局の方々に感謝申し上げます。

10年前と比較しても女性歯科医会・歯科衛生士会・歯科技工士会・いばらき専門カレッジリーグなどの団体が新たに参加し、年を追うごとに学会の規模は拡大しています。昨年10月に行われた広報座談会において、歯科医学会の会場についての質問も有りましたが（茨歯会報12月号参照）、実際に参加してみるとやはり水戸プラザホテル開催が妥当ではないかとの感想を持ちました。個人的には数年ぶりの参加となりましたが、非常に勉強

かつ刺激になる1日でした。水戸までの交通手段が限られ、参加をためらう先生もいるかと思いますが、最新の歯科技術・情報・機器などに接する機会であると共に、場合によっては疎遠になって

いた友人に再会などのサプライズがあるかもしれません。来年、より多くの会員の参加を願って今回の歯科医学会参加報告といたします。



## 茨城県歯科医師会主催 第2回障害児・者歯科講習会報告

(公) 茨城県歯科医師会 口腔センター土浦

丸山 容子、高木 伸子、坂巻 ますみ  
村井 幸夫、征矢 亘、森永 和男

平成28年2月14日(日)に霞ヶ浦医療センターにおいて、「茨城県歯科医師会主催第2回障害児・者歯科講習会」が開催されました。今回は、「発達障害の理解と支援」～精神科医にできること～と題して、山川百合子先生(茨城県立医療大学 医学センター准教授)(写真1)に御講演いただきました。



写真1

○山川百合子先生のご略歴

静岡市出身

東京大学理学部卒業後、民間の研究所やアメリカエール大学医学部で遺伝子の研究に従事。

その後、名古屋大学医学部を卒業し、精神科医になる。

平成16年4月より茨城県立医療大学に着任。

### 講演の内容

発達障害とは、発達の過程で明らかになる障害で、行動、コミュニケーション、社会適応の問題を主とするもので、軽度だけに見逃されやすいが、生活障害としては軽度ではないということになる。発達障害=発達機会喪失障害で発達凸凹という言い方がわかりやすく、例えば、「これができるなら、(言わなくても)これはできるだろう。」が通用しない。「これができないのに、これはできる。」と思われてしまい、「ふざけているのか?」と誤解されてしまう。

発達障害の分類は、広汎性の発達障害(1つの能力ではなく広い範囲の能力障害。特に他者と関わりあう能力の欠如)では自閉症スペクトラム、また発達の部分的障害では注意欠陥・多動性障害、学習障害があげられる。

### 発達障害の問題点

1. 周囲からの幼少時からの情報や行動聴取が必要にもかかわらず、児童精神科医が少ないために、診断が困難で混乱してしまう。  
(また、茨城県は精神科医数が全国で47位だそうです。)
2. 家族や他人との信頼性が低く、自己肯定感が低い。
3. 大人になって社会生活の中で初めて気付か

れることが多い。(大学や高校で何とかなっても就職してからうまくいかない。)

4. 表にでるのは合併症(抑うつ、不安)が多く、精神科の診断として、うつ病、対人恐怖症、統合失調症など、と診断されてしまう。

#### 発達障害の専門的な診断の意味

こどもでは、才能の部分を探す手伝いをしつつ、保護者の気持ちをくみとり、虐待の予防にも努めなければならない。

おとなでは、患者自身が、それまでとは自分自身への見方や考え方が変わり、社会的サポートが受けられるようになる。

#### 発達障害への具体的な対応

##### こどもの場合

発達障害の症状そのものではなく、有害な影響を最小にして自己評価を高める。例えば、注意散漫な場合は、邪魔なものは片付ける。長い説教や言い聞かせはだめで、簡単な指示を行う。衝動性な場合は、興奮したらその場から離し、クールダウンさせる。

##### おとなの場合

就労支援の役割が重要となる。

#### 仕事の進め方に問題がある場合

1. 「作業マニュアル」と「スケジュール表」を作り、構造化、目標管理をする。
2. 集中力に欠ける場合は仕事の適正を再検討する。
3. 複雑な作業は工程を細分化してやってもらう。

#### コミュニケーションに問題がある場合

1. 曖昧な表現は避け、具体的に伝える。  
(ちょっと待ってて、は苦手。)
2. マナーや慣習は可能な限り明文化する。
3. 指導や注意はできるだけ穏やかに行う。  
(こうやってくれるとうれしいな。)

#### 職場環境に問題がある場合

1. パニックになったら一人になれる静かな

場所へ。

2. 周囲に過敏な場合はその刺激を減らすことを考える。

医療と就労は、異文化コミュニケーションであり、コミュニケーションギャップの縮小のため、「イトコサガシ」が重要で、間にデイケアをいれて自信をつけることが重要。リハビリテーションの真髄は、本人も周囲も自信の回復である。



#### アンケート集計結果

受講された方々には所定のアンケート用紙に無記名で記載をお願いし、講習会終了後に回収しました。アンケートを集計し、その結果をまとめたので報告します。

##### 1) 受講者数とアンケート回収率

受講者数は102名で、アンケート提出者数は70名で回収率は68.6%でした。

##### 2) 性別・年齢

性別は男性が28.6%、女性が68.1%、記入なしが4.3%でした。年齢は、50代が最も多く34.2%で、次いで40代が27.1%、30代が18.6%、60代が12.9%、20代が4.3%、70代が2.9%の順でした。

##### 3) 職種

受講者の職種別一覧を表1に示します。

表1 受講者の職種

職種	名	(%)
歯科衛生士	10	14.3
支援員	9	12.9
歯科医師	8	11.4
教員	6	8.6
保健師	2	2.9
看護師	2	2.9
医師	1	
臨床心理士	1	
作業療法士	1	
言語聴覚士	1	
管理栄養士	1	
社会福祉士	1	
保育士	1	
柔道整復師	1	
相談員	1	
学生	1	
その他	12	17.1
記入なし	11	15.7
計	70	

## 4) 受講者による評価

受講内容に対する受講者の評価を表2に示します。

表2 受講者による評価

評価	名	(%)
非常に良かった	39	55.7
良かった	26	37.1
あまり良くなかった	0	
良くなかった	0	
記入なし	4	
ふつう	1	
計	70	

## 5) 受講者の感想・意見

講演内容に関する受講者の感想・意見は以下の通りでした（一部記載）。

- ・発達障害について初めての講演を聴きました。子どもと大人の状況を知ることができました。
- ・今かかっている医師にうつ、不安障害が発達障害からきているみたいだから、なにをやっても（治療）治しようがないと言われてがっかりした。医師によって発達障害について違いすぎる気がするので、改善して

いってもらえたらと思います。

- ・経験に基づくお話だったのでとても面白く聴けました。関係機関との連携の難しさを感じているので、具体的な工夫を今後お聞きしたいと思います。仕事上診断の補助なので問題点を探しがちですが、良い所を積極的に見つけていきたいと思っています。
- ・親ならだれでも知っているべき情報だと思うし、教育現場でも様々な課題があるので、とても有意義な講演だった。
- ・娘が発達障害と診断されて10年になります。精神科に通っていますが、体調が良くならず、支援がうまくうけられていない感があります。何かよい手はないのか、講演を聞いて考えようと思いました。精神科医に年金はちょっと無理というようなことを言われてあきらめていましたが、もう1度トライしてみようと思います。
- ・『自己肯定感を高める』ことを公私ともに大切にしていきたいと思った。
- ・薬ではなく「希望」を処方するという言葉がとても印象的でした。私も「イトコサガシ」ができるようになりたいと思いました。
- ・子どもが病院に診察に行ったとき、教頭と担任が医師に会い情報交換をしました。少し医師の見立てが変わり、薬をかえ改善が見られました。教師と医師が直接会って情報交換することの大切さを実感しました。面会時の留意点やコツを教えてもらいたいです。
- ・家族支援においてもヒントが得られました。
- ・主催が「歯科医師会」ということで、口腔内のことだけではなく、口腔を見るためにも多方面の障害を理解しようとする姿勢に感服しました。障害者支援事業所にも多種

の障害を抱えている方がおり、チームワーク、異文化コミュニケーションの大切さを改めて思いました。

- ・診断も大切だが、障害の理解、困り感の理解がより大切であることを学ぶことができました。また、リハビリの真髄は自信の回復ということも参考になりました。

- ・本日の講演は情報のインプットであり、持ち帰ってひとつでもアウトプットする事。これを、主催者側がフィードバックして「〇〇な場面で△△したらおかげさまで、(困難な状況が)改善されました。」という事例を集めることをできれば、今後、情報を広めていく為の資料として、役立つのではないかと思います。

#### 6) 今後の講演課題・要望について (一部記載)

- ・講演会の活動をさらに県民にアピールする必要があると思います。
- ・他害行為、行動障害のある方の集団生活の支援のあり方などの講演を聴きたい。

- ・県南地域で開催していただけるとありがたいです。

- ・認知症のケアやメンタルに問題のある人のかかわり方など。

- ・小さい子供がいるので、可能であれば託児室等があるといいなと思いました。(夫婦や家族が参加できるために。)

今回の講演会で、発達障害をもつ人たちとその家族への理解とそれぞれの立場からの支援について学ぶことができました。また、こどもとおとなのそれぞれの発達障害のDVDを視聴し、具体的な例を知ることができました。こどもの時期には、生活しやすい環境を作る支援が必要であること、おとなになってからは、就労するためにリハビリをして、働きやすい環境を作る支援が必要であること等。

これからも、アンケートの結果を踏まえ、受講者の方たちのニーズに即した内容の講演会を企画していきたいと思います。

## 会員へのお知らせ

### 日本歯科医師会福祉共済制度について

#### 1. 死亡共済金受取人順位の変更について

受給権者をあらかじめ指定した方で、結婚、離婚、再婚、死別などにより受給権者の状況に変更があった場合(指定の確認は茨城県歯科医師会までお問い合わせ下さい)。

#### 2. 火災・災害共済指定物件の変更について

住宅及び診療所所在地の変更があった場合(変更届出前に火災、災害に遭われた場合、所定の共済金が支払われないことがありますので、変更時に必ずお届け下さい)。

※ これらの変更については、所定の様式がございますから、茨歯会事務局(TEL 029-252-2561: 担当 根本)までご請求願います。



確定申告がひと段落した週末、懲りもせずに冬の秘湯へ。

今回の目的地は福島県の二岐温泉。梅の花が満開の水戸から、冬景色の白河市、羽鳥湖を經由して、天栄村中心部からさらに車で30分ほど入ったブナの原生林に囲まれた山深い秘湯です。開湯は969年と言われ、江戸時代には隠し湯として一般の人の入浴が制限されていたそうです。

今回訪ねた大丸あすなる荘には、天然の川床をそのまま生かした自噴泉岩風呂があり、湯舟の底の岩の割れ目から温泉が自噴しています。でこぼこした湯舟の底には甌穴（小石が水流で転がって削り取られた丸い穴）があり、昔は川だったことを物語っています。



お湯は無色・無臭のアルカリ泉で源泉は53℃、加水なしの源泉かけ流しなので少し熱め。

建物も湯船もきれいな混浴内湯です。さらに、同じ敷地内の二岐川沿いには少しぬるめの渓谷露天風呂もあります。雪のブナ林を眺めながらリフレッシュ。

今回も貸切状態で、ウサギちゃんに会うことはできませんでした。

帰りは白河ラーメンで腹ごしらえ。

(樹)

ちょっと前の昨年末、人生初めての歌舞伎を鑑賞しました。残念ながら、歌舞伎座の公演はチケットが手に入りませんでした。国立劇場にて松本幸四郎、市川染五郎親子の『東海道四谷怪談』の公演。かみさんと義母と東京駅で待ち合わせて現地へ。義母に鑑賞の仕方を教えてもらいながら、まずはお弁当の購入。幕の内弁当の語源の一つで、<sup>まくあい</sup>幕間（序幕と2幕目）で食事をすることから、私達もその時間に食事を済ませました。

さて今回の内容はというと、江戸歌舞伎の代表、鶴屋南北の最高傑作の通し狂言。<sup>えんやけ</sup>塩冶家の浪人<sup>よつやさきもん</sup>四谷左門の娘<sup>おいわ</sup>お岩と<sup>おそで</sup>お袖の姉妹を巡る怪談劇で、主にお岩の<sup>たみやい えもん</sup>夫民谷伊右衛門の極悪非道な行いによって進行する物語。伊右衛門を孫娘の婿に迎えた<sup>いとうきへい</sup>伊藤喜兵衛が仕込んだ毒薬によって、お岩の面相が変わり、恨みを残して死んで、この後、お岩の幽霊がさまざまな場面で伊右衛門を悩まし、伊右衛門の母や仲間を次々に死へ導きます。最後に伊右衛門は、お袖と夫の<sup>さとうよもしち</sup>佐藤与茂七によって討たれます。伊右衛門は、二枚目の色男でありながら四谷左門や内職の手伝いに雇った<sup>こぼとけこへい</sup>小仏小平を殺し、お岩を死に至らせる悪人として描かれ、「色悪」とよばれる役柄の代表的な役として知られます。

またこの作品は<sup>かなでほんちゆうしんぐら</sup>『仮名手本忠臣蔵』



(江戸幕府の取り締まりで、実際の忠臣蔵の事件をそのまま使えず、表向き太平記の設定を使っていることから登場人物の名前が史実と違う物語』を背景としているため、登場人物の多くは何らかの形で『仮名手本忠臣蔵』の世界と関係しています。伊右衛門やお岩の父<sup>よつやきもん</sup>四谷左門などが、塩冶家の浪人という設定であるのもこのため、と鑑賞後に何でお岩さんと忠臣蔵が一緒になっているのか知りました。また、公演中はイヤホンガイドというもので解説を聞きながら鑑賞するのですが、それがなかったら、おそらくチンプンカンプンだったかと。

演出もさることながら、舞台の素晴らしさに引き込まれました。お岩の登場の際のオドロオドロしさは大人になっても夜中のトイレが怖くなるのではと思うほどでした(笑)。

今回初めての鑑賞で、歌舞伎の公演時間を初めて知りましたが、映画よりは長いくらいかと思っ  
ていましたが、考えが甘かった。開演12時、終演が16時45分と予想以上の長丁場にちょっとグッタリ  
気味。ですが、とても面白かった初歌舞伎でした。

次のお初は宝塚か、大相撲の予定です。

(コバ)

歯科医師になって31年。今までの治療経験の中で最高齢の患者さんを治療しました。1914年(大正3年)生まれSさん101歳男性。上顎総義歯がゆるく落ちてしまうとの主訴。家族の付き添いで来

院されます。杖なしで歩き、食事・入浴・トイレは一人でできるとのこと。会話のテンポが少し遅れるものの意思疎通は可能です。こちらの挨拶にも笑顔で答えてくれます。通院回数9回にて義歯新製しました。Sさんが生まれた1914年は第一次世界大戦勃発の年。人生を4回分廻れば江戸時代初期です。1614・1615年は大阪冬・夏の陣。なんか凄い!

Sさんの治療が終了して数日後。往診の依頼がありました。1912年(明治45年)生まれNさん104歳女性。寝たきりで口腔内乾燥があり出血するとの主訴。あっさりと治療経験最高齢更新!往診4回にて口腔内乾燥が改善され終了しました。

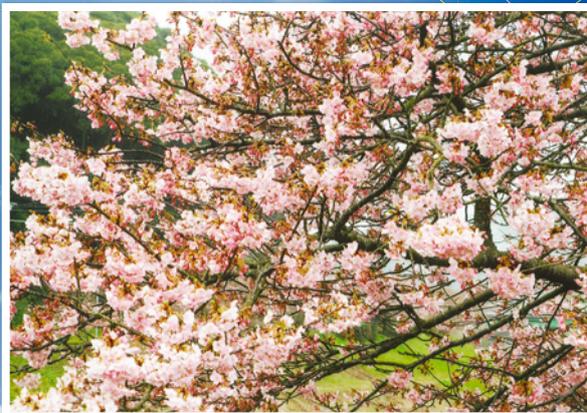
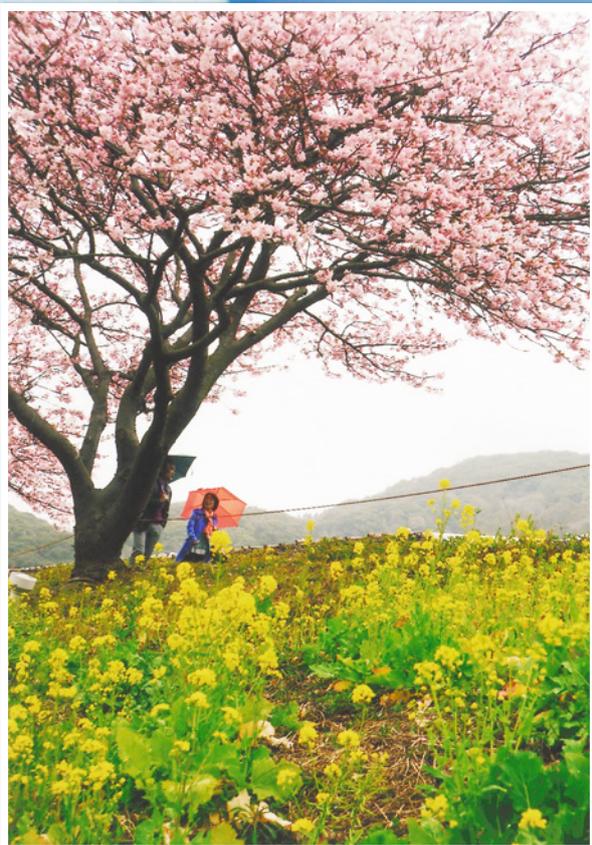
Nさん1921年(大正10年)生まれ94歳男性。一人で歩いて通院されます。元気なのですが耳が遠い!耳元で大声に話してどうにか会話ができます。何時に予約をとっても8:30に来院されてしまいます。診療開始は9:30なのに!!Nさんは骨折のため治療中断中です!

2015年9月11日、厚生労働省は100歳以上の高齢者数を6万1568人と発表しました。私の開業する日立市では100歳を超える方は68人(日立市報2015年9月5日号による)。私が100歳まで生きるとすると、今年生まれた孫が43歳になります。もしかすると玄孫が抱けるかもしれません??長生きって凄い!!

(和)

# みんなの写真館

Photo  
Gallery



2月10日から3月10日まで河津桜まつりを開催していました。  
早咲きで今が見頃でした。咲いている期間が随分長いのです。

(社)茨城県南歯科医師会 飯田 昭

## 会 員 数

平成28年2月29日現在

支 部	会員数(前月比)
日 立	123
珂 北	138
水 戸	158
東西茨城	75
鹿 行	104
土浦石岡	172
つ く ば	120
県 南	173 -1
県 西	153
西 南	107
準 会 員	1
計	1,324 -1

## みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員	1,145名
2種会員	44名
終身会員	134名
準会員	1名
合計	1,324名



**Ibaraki Dental Association**  
公益社団法人 茨城県歯科医師会

## 茨 歯 会 報

発行日 平成 28 年 3 月  
発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地  
電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075  
ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>  
E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 征矢 亘  
編集人 菱沼 一弥



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。